

5月11日に「いつやるか？今でしょ！」で有名な林修先生の講演を聞きに行ってきました。講演の趣旨は、今の社会を生きるために



私たちが考えて取り組まねばならないことについてです。先生曰く「現代は情報が飛び交い過ぎて何が正しいかわからなくなってきている、それだけに正しい判断基準を持っていないといけない。マルチ商法に引っかかる人のうち、4割が若者であると言われている。」だそうです。また、先生は危機感を持ち自分ができる事を見つけなければならない時代だともおっしゃっていました。インターネットの普及と発展に伴い商品を買えるようになると店が要らなくなるなどこのことから①少子高齢化②格差の拡大(階級社会)③仕事なくなる④中間項の崩壊ということを挙げられ、1947年の子供の出生数269万人、1974年195万人、そして去年は94万1000人まで減少し、長寿化が進んだことで生まれた子供たちへの負担が多くなっている深刻な状況であること等をしっかりと考えなければならぬことを強調されていました。ご自身も今後の生活を考えた時に何で生きていくかを今考えておられるそうです。その中で情報を整理し、自分に合った、自分の得意な分野でできる講演活動をしていくのだそうです。講演会でも対象によって、雰囲気によって話の内容を変化させているとのこと、テレビで見ている通りのきれいな話に頷きながら楽しく聞くことができ、とても参考になる話に刺激を受けました。

5/12 神戸新聞
北播版掲載



本校3年生の三草小学校出身生徒が、自分の小学校時代に社高校生と茶摘みを体験し、食品を作ったことが社高校への進学理由になった事を三草小学校長に話をすると是非という回答を得て、実現した茶摘みに行ってきました。その様子を神戸新聞に取材していただき、本校生が小学生と一緒に茶摘みをする姿が掲載されました。高校生への憧れを抱く小学生にとっては、このような連携はとても心強いものだと思います。今後も継続して小学生の希望の星になってほしいですね。



①15回生卒業記念・昭和37年生徒会贈(陸上競技場前:掲揚柱) ②24回生卒業記念(体育館前)
③31回生卒業記念(東雲寮横) ④80周年記念尚友会・44回生卒業記念表彰ケース(事務室前)
⑤66回生卒業記念(生徒玄関北側:冷水機) ⑥体育科43回生(体育館入口:生徒信条)
⑦体育科42回生(体育館入口:「凍として」) ⑧美術部・58回生3-7制作社高校敷地模型(玄関:
1980年・1983年・2005年) ⑨90周年記念(玄関:女学校時代の鐘)

続いては卒業記念品の続きです。前回は13の記念品



を紹介させていただきました。今回は、さらに九つの記念品を紹介させていただきます。⑨のケースは90周年記念としか書いておらず、90周年のものなのかどうかもわかりませんでした。また、④の表彰ケースは80周年記念と44回生卒業記念品が左右で一体となって表示されており、経緯を確認しなければなりません。陸上競技場前の掲揚柱にも卒業記念と生徒会の記述があり、こちらも聞いてみる必要はありそうです。玄関前の模型は、校舎の配置が換わるたびに手入れをされているようで、最終は58回生3年7組の表記がありました。とてもうまく作られています。まだまだ紹介できることはあると思います。少しずつでも明らかにして伝えていきたいと思っていますのでご協力のほどお願いいたします。

それでは、今週はいよいよ中間考査週間。学習の方もしっかりと取り組んでください。